

ちかく

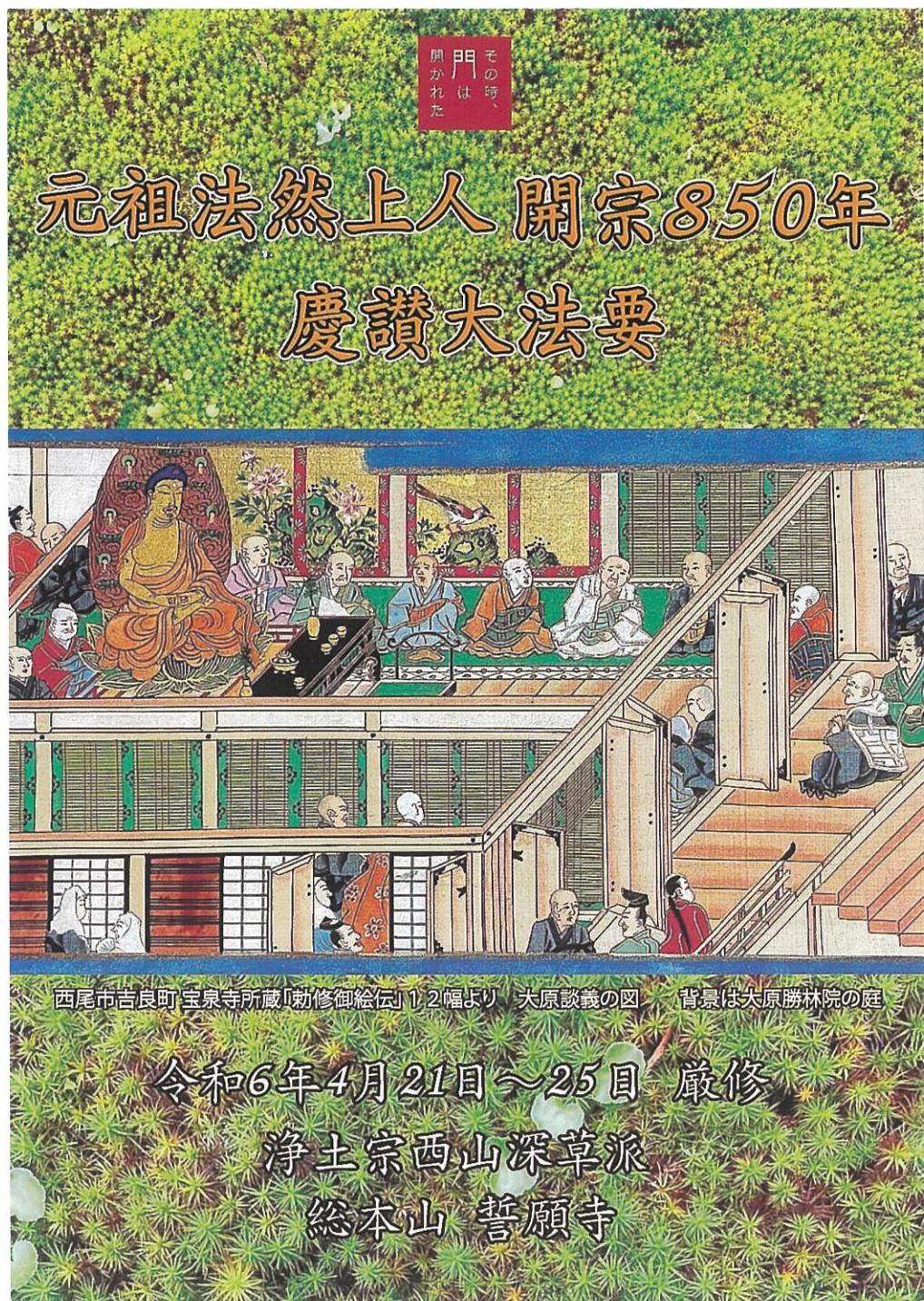


◆ 目次 ◆

- 開宗八百五十年に向けて (15)
- 洛陽六阿弥陀巡りのご案内 (36)
- お釈迦さまの十大弟子 (27)

- インド バタバタ (61)
- 総本山 誓願寺だより
- 何でも「お寺探偵団」夫婦道中記 (61)

瑞雲山妙徳寺
Vol. 65



開宗八百五十年に向けて

布教師会 祖父江義典

15

建暦二年（1212）正月二十五日、法

然上人ご臨終の際には、最後に

光明遍照 十方世界 念仏衆生 摂取不

法然上人の御遺跡

法然上人の御遺跡というと、總本山誓願

寺を二十番札所とする「法然上人二十五靈場」が頭に浮かびます。「法然上人二十五靈場」の中には、法然上人の生涯を語るうえで欠かす事の出来ない御遺跡とされる寺院が数々あります。しかし、その中にあつても、法然上人ご自身が御遺跡と示された場所はありません。それはなぜでしょうか？

すると、法然上人は、

「一つの寺を遺跡とすればお念仏の教えは広まりません。私の遺跡は日本全国あらゆる所にあるべきです。なぜなら、お念仏の御教えを一人でも多くの方に知つてもらうことが、私の生涯をかけて行つてきた事です。ですから、お念仏を申す者がいる所が、身分の貴賤に関係なく、どんな場所であつても、その全てが私の遺跡なのです」とお答えになられました。

弟子たちにとつて、法然上人の亡き後、であったためか、病床に臥せられてしまいます。年が明け、建暦元年（1211）十一月、四年ぶりに入洛を許され、京へと帰られました。しかし御歳七十九歳というご高齢の法然上人にお尋ねになりました。

弟子たちにとつて、法然上人の亡き後、法然上人を身近に感じる場所、お念仏の御教えが広まつていく拠点が定まっていない事を危惧しての質問だったのでしようが、法然上人にとって、誰がどこでお念仏をす

るかという事は、それほど重要な事ではありませんでした。法然上人にとつて最も重要な事は、誰であつても、どんな場所であつても、「ただ一向に念仏する」事なのです。

阿弥陀さまのお慈悲の光明は、私たち念佛の衆生を誰一人漏らすことなく救い取る、つまり、どこであつても、誰であつても、阿弥陀さまの救いの中にあるのです。このお慈悲の光明の中に私達が生かされていることに感謝し、喜びのお念仏をお称えすることこそ、法然上人が生涯をかけて私達にお示し、遺してくださいた事なのです。ですから、その救いの中にある私達一人一人こそが、法然上人にとっての御遺跡と言えるのではないでしようか。

来年、令和六年は、元祖法然上人開宗八五〇年の節目を迎えます。法然上人が生涯をかけて遺してくださいた御教えを、後世へと伝えていけるように、お念仏の毎日を送りましよう。

第二十三話
「九条相国、仏事を営む」

嘉禎一年（1236）の春、相国（太政大臣）の九条道家公は、證空上人を導師として誓願寺で七日間の仏事を営みました。誓願寺では、人々に仏さまとご縁を結んでいただけるようにと、何時も、證空上人がお説教をされていました。お説教の中で證空上人は『仏説觀無量寿經』第十觀（觀音觀）の「その余の身相・衆好具足して、仏のごとく異なるところなし。ただ、頂上の肉髻※1と及び無見頂の相のみ、世尊に及ばず」の一説を挙げられ

「まだ成仏していない観音菩薩が肉髻の相を備えているのに、誓願寺の阿弥陀さまにこの一相が欠けているのは私たち凡夫たれ」と話しました。また、もう一人の老尼は

「私が昔、當麻寺で織女さま※2から聞いた話と今日の證空上人のお説教が全く同じでした。またとない有り難い出来事でした。

（終わり）

※1 仏像の頭頂に一段高く隆起した部分のこと

※2 當麻曼陀羅を織つた人物



に寄り添っている姿そのものである。これはこの上なく有り難いことだ』

とお話しされました。證空上人は當麻曼陀羅の阿弥陀さまも肉髻が無いことを

話し、阿弥陀さまの慈悲深さを讃嘆しました。そして、この話を聞いた聴衆は歓喜の涙を流しました。

證空上人の弟子である性達は、その夜、

お堂に籠もり念佛を称えていました。すると不思議なことに、いつの間にか沢山の人が現れて、皆が手を合わせていました。その中に、装いの異なる一人の老尼が、親しく語り合っていました。性達は不思議に思い話しかけました。一人の老尼が

と答えて西門の方へ立ち去りました。性達はさらに二人の跡を追いましたが、西の空の霞とともに老尼の姿は見えなくなりました。あとから思うに「青蓮」は中将姫の別名で「専意」は和泉式部の法名でした。またとない有り難い出来事でした。またとない有り難い出来事でした。

じでした。織女さまは、觀音菩薩さまの化身であります。そして證空さまも、同じく觀音菩薩さまの化身なのです。なんと有り難い「一体分身のお姿でしょう」と話し、老尼は當麻曼陀羅の話を、時を忘れて語りました。



総本山誓願寺ご本尊 阿弥陀如来坐像

一番	真如堂	阿弥陀如来立像(うなずきの阿弥陀:重要文化財)
二番	永觀堂	阿弥陀如来立像(見返り阿弥陀:重要文化財)
三番	清水寺 阿弥陀堂	阿弥陀如来像(恵心僧都作)
四番	木食寺 安祥院	阿弥陀如来像(木食正禅上人作)
五番	安養寺	逆蓮華の阿弥陀如来立像
六番	誓願寺	阿弥陀如来坐像(胎内に五臓六腑があった)
功德日		1月15日、2月8日、3月14日、春の彼岸、4月15日、5月18日、6月19日、7月14日、8月15日、9月18日、秋の彼岸、10月8日、11月24日、12月24日
初六阿弥陀巡り	1月15日	一年の最初の六阿弥陀巡りで、「南無阿弥陀仏」を念すれば極楽往生するといわれています。

洛陽六阿弥陀巡りとは、京都市内の阿弥陀如来像を祀る六ヶ寺の靈場を巡拝するものです。総本山誓願寺は第六番札所になつております。

この靈場巡拝の由来は、江戸時代

中期1717年、第四番靈場の安祥院を開基した大阿闍梨の木食正禪上人が1687～1763)が阿弥陀仏の靈感をうけ発願されたもので、この功德参りを三年三ヶ月怠らず行すれば、

各靈場寺院と功德日は表の通りです。総本山誓願寺では功德日の午前十一時より六阿弥陀法要、午後二時より当派布教師によるお説教をお勤めしております(春の彼岸・秋の彼岸は除く)。皆さま、是非お参り下さいまして、阿弥陀さまの功德を頂き、お説教を拝聴し、心豊に過ごして参りましょう。

「この身は無病息災・家運隆盛・祈願成就(学業成就・交通安全など)、その功德受くることまことに高く大なり」とおしえられ、また「有縁無縁の精靈の追善回向を行はずれば、わが身の往生安樂がかなえられること必定」と説かれています。



一、六阿弥陀靈場



誓願寺の御朱印「阿弥陀如來」

お釈迦さまの
ご生涯
外伝

お釈迦さまの十大弟子

27

絵・豆田織奈 文・釈尊法話会

淨飯王が叫ぶやいなや、耶輸陀羅妃はなんと羅睺羅を池に投げ入れたのです。

「ドボーン！」

と音がして、羅睺羅は池に沈んでいました。淨飯王も耶輸陀羅妃も呆然と立ちすくんでいます。ただただ涙を流しながら。

すると、雲の隙間から光が差し込み、池の真ん中を照らしました。なんと不可思議なことに沈んだはずの羅睺羅が浮いてきたのです。勿論体には石が縛り付けてあります。

羅睺羅は間違いなく、太子の子であつたのです。

(つづく)

密行第一羅睺羅尊者(その4)



なぜこのようになつてているのですか。何かご存じですか？」

「すまない、耶輸陀羅妃よ。実はわしはそなたを疑つてゐる。太子が我が子を可愛がらず、城を出て行つたのは、実は羅睺羅は太子の子ではないのです」

「王さま、何てことを！私が不貞を犯したとでもお思いですか。酷い」

「・・・・」

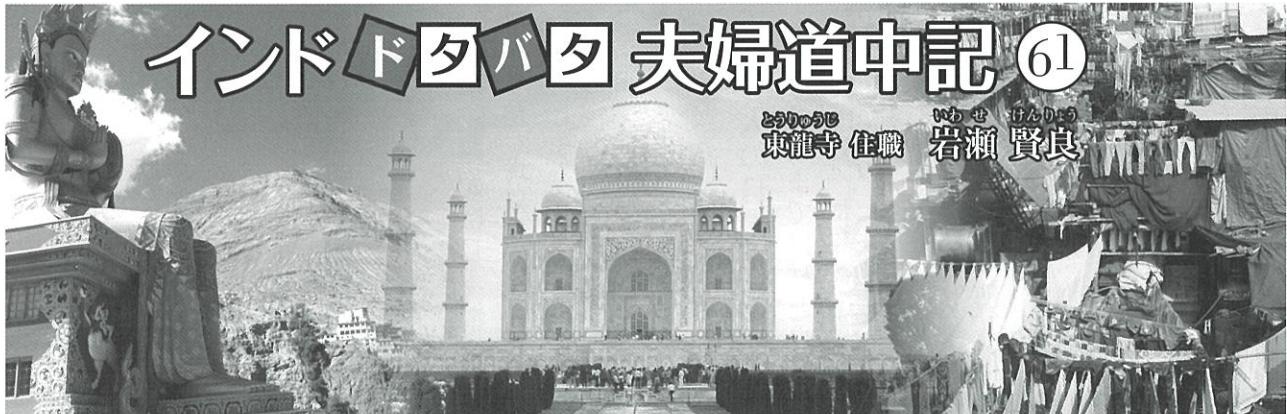
「王さま、息子が生まれ、夫が城を出でから人の目が冷たいように感じます。このままでは私と息子はここにいられません。本当に辛いです。何かご存じですか？」

「耶輸陀羅妃よ、確かに太子が城を出でから、そなたに対し風当たりが強くなつてゐるようを感じる。しかし、孫はこの城の跡取り、しつかり育てないといけない。そなたがしつかりしないといけないではないか」

「しかし、王さま。私はこのままではここにいられません。毎日辛いです。やめろー！」



羅睺羅を助け出した耶輸陀羅妃



インドドタバタ夫婦道中記 ⑥1

とうりゅうじ 東龍寺 住職 岩瀬 賢良

発見の多い一日

ラダック寺での読經を終え、宗派の違う僕には、初めて見る物や使い方の解らない道具が幾つか経机に置いてあり、僧侶の使う法具が珍しかつたので、それぞれの説明をしてもらつた。チベット仏教は一般に密教（秘密の教え）とも言い、日本では弘法大師空海上人が中国に渡つて何年も学び、帰国して真言宗として世に広めた仏教である。説明をしてもらつた後、淨財（一〇ルピー（約二五円）を賽銭箱に入れ、坊守の青年に寄付金を五〇ルピー（約一三〇円）渡し、境内に出ると作務衣姿の尼僧さんがいた。寺の青年の話だと、その尼さんは韓国から、チベットの宗教指導者であるダライ・ラマ師に会いにデリーに来たのだそうだ。ダライ・ラマ師は中国の理不尽な政治的圧力のために、インドに亡命中にも関わらず、世界中を飛び回つてい

る多忙な人で、丁度この時期にデリーに滞在中なのか、と僕は思った。尼さんにも仲間に入つてもらい記念写真を撮つて別れを告げ、門の横に大きなマニ車（銅製の円筒形で、円の中心に軸の柱が貫かれていて、チベット語の経文が円筒の中に入れてあります、筒を一回転させると中の経文を全部読んだことになると言われている）があつたので、僕たち二人は交代で「オンマニ・ペメフム」と称えながら大きなマニ車を押して一周し、ラダック寺を後にした。

再び大通りに出てなかなか通らないオートリクシャーをやつとのこと捉まえ、メイン・バザールに戻り土産物を探して回ることにした。宿泊しているホテルのすぐ前にロータリーがあり、その一角で露店のスパイス屋が目とまつた。鮮やかな色のスパイスの山が何十種類も並べられてるので、僕たちのように香辛料に疎い外国人は一瞬に目が向くに違ひない。僕は早速た

どたどしい英語で尋ねると、露店のおじさんも、なまりのあるたどたどしい英語で説明してくれるのだが、話は半分も理解できない。そんなやり取りにお構いなく利子は、タンドリーチキンを漬け込む為の、ヨーグルトに混ぜるミックス・スパイスを一〇〇グラム注文するよう僕に言うのだ。おじさんは手際よく何種類かのスパイスを秤に載せて混ぜてくれた。ついでにチリ・ペッパーも一〇〇グラム頼み、前者は五〇ルピー（約一二五円）、後者が三〇ルピー（約七五円）だつた。



ラダック寺のマニ車



* 法要はお施主さま
一組ずつ本堂でお勤
め致します。
* ご来山の折には
「納骨カード」をお
持ちください。お持
ちでない方は「案内
封筒」を受付時にご
提示ください。再
発行致します。

○ 各行事を予定いたしておりますが、
中の状況により変更、又は中止になる
場合がございます。その際は、誓願寺ホー
ムページ・SNSにて公表させて頂きます。
何卒ご了承くださいますようお願い申し
上げます。



SHINKYOGOKU.SEIGANJI

総本山誓願寺だより

おもな行事予定

- 三月
十四日(火)
春彼岸
- 四月
十八日(土)～二十四日(金)
善導忌・六阿弥陀功德日
- 五月
二十三日(日)～二十五日(火)
元祖法然上人御忌法要
- 六月
三日(土)
和泉式部忌
- 七月
十九日(月)
六阿弥陀功德日
- 八月
十四日(金)
六阿弥陀功德日
- 九月
十五日(火)
六阿弥陀功德日
- 十六日(水)
精靈送り・盆施餓鬼

総本山誓願寺にて、春彼岸の法要をお勤め
致します。感染症に十分お気をつけてご参詣
くださいますようご案内申し上げます。

合掌

時期 三月十八日(土)～二十四日(金)
時間 午前十時～午後三時
回向料 二靈 三千円

春彼岸のご案内

【問題】

3頁「賢問子行状記」より、仏像の頭頂に一段高
く隆起した部分のことを何といいますか？
漢字2文字でお答えください。



ハガキに、【答え、郵便番号、住所、氏名、電話番号、菩提
寺（だんな寺）、感想】を書いてご応募ください。なお、ご提
供いただいた個人情報につきましては、プレゼントの発送のみ
に利用いたします。今回は妙徳寺さまより落慶記念腕輪念珠を
10名さま、本山謹製線香を5名さまに抽選して差し上げます。
ご応募お待ちしております。

【宛先】 〒四四二一〇一〇五

愛知県蒲郡市西浦町北馬相十一番地
覚性院内 ちかい編集係

姓 名	郵便番号
電 話 番 号	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>
菩 提 寺 (だんな寺)	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>
住 所	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>
感 想	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>

【締切】 五月三十一日
(消印有効)

ちかい
第167号

発行日 令和五年三月五日
発行所 総本山誓願寺

京都府中京区新京極桜之町四五三番地
浄土宗西山深草派

○ 各行事を予定いたしておりますが、
中の状況により変更、又は中止になる
場合がございます。その際は、誓願寺ホー
ムページ・SNSにて公表させて頂きます。
何卒ご了承くださいますようお願い申し
上げます。

クイズコーナー

何でも お寺探偵団



Vol.65



名倉 倫子師 (妙徳寺第27世)

profile

平成6年8月大学在学中に総本山誓願寺にて法脈相承を受ける。大学卒業後、丸栄百貨店に勤務。平成17年1月25日に妙徳寺住職を拝命。平成17年4月佛教大学文学部仏教学科浄土学専攻に編入し、平成19年3月卒業。令和4年10月29日妙徳寺本堂・庫裏を再建し落慶法要を厳修する。

幸田駅からほど近く、閑静な住宅街の中に新築されたばかりの本堂は、ひと際目を引くものでした。ご住職は積極的にSNSで情報発信をされたり、多くの苦労を乗り越え、本堂を再建されるなどパワー溢れる方です。持ち前の明るさとパワーを生かし、多方面での益々のご活躍を祈念いたしています。



今回は愛知県額田郡幸田町の「瑞雲山妙徳寺」を訪ねました。



Q1 お寺の歴史を教えてください。

応永20年(1443)龍光證賢

上人によって開山されました。前本堂は18世紀後半に、前庫裏は寛延2年(1749)に建立されました。江戸末期には善光寺戒壇巡りを倣い、本堂床下に深さ1.5mほどの戒壇巡りが設けられましたが、昭和35年耕地整理による浸水により埋められました。

貞享4年(1687)同じ地区に建てられた薬師堂は、享保17年

(1732)に妙徳寺へと移築され、大正・昭和初期には、幸田薬師として参拝者で賑わいました。現在は本堂内に祀られています。

令和元年から本堂・庫裏・手水舍・山門を再建し、令和4年10月に落慶法要を厳修しました。

Q2 お寺にはどのような仏さまが祀られていますか？

御本尊阿弥陀如来三尊立像、善導大師座像、法然上人座像、聖觀世音菩薩立像、利劍大師(弘法大師)座像、辯財天座像、釈迦如來座像、善光寺式一光三尊阿弥陀如來立像、藥師

如来・日月両菩薩立像が祀られています。



Q3 お坊さんとしての心がけを教えてください。

本堂を再建できたことは、檀信徒の皆さまのおかげさまで深く感謝しております。今後とも檀信徒の皆さまと共に歩んでいきたいと思っています。



Q4 「ちかい」の読者に何か頂けませんか？

令和大建築落慶記念品として旧本堂の柱から作られた腕輪念珠を10名さまに差し上げます。

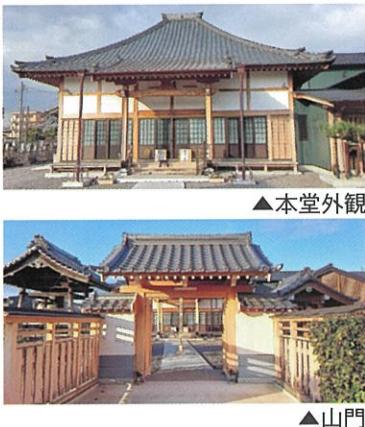
【交通】JR幸田駅から徒歩5分

【主な行事】

初観音会	2月中旬日曜日
弘法会	4月29日(昭和の日)
盆施餓鬼	8月17日
薬師会	12月初旬日曜日
除夜の鐘	大晦日

【お問い合わせ】

妙徳寺
〒444-0116
愛知県額田郡幸田町芦谷大西20
電話 0564-62-1159
Instagram myoutokuji_kota
Facebook 浄土宗西山深草派妙徳寺



▲本堂内観

▲利劍大師 弘法大師

▲涅槃図

▲山門